



蛇口から水が飲めるあたりまえを

続けていくために



将来にわたる 安定経営に向けて

学識経験者や市民代表による審議会から

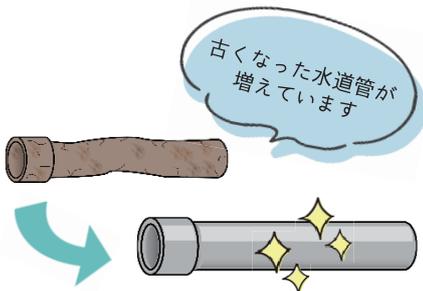
答申を受け取りました

行政からの問いかけを受け、第三者機関が意見・回答を行うこと

3つのポイント

1

水道管の 強化



古くなった水道管が増えていきます

計画的に地震に強い新しいものへ

2

水道料金 の見直し



水をつくって届ける必要コストを十分に回収できていません

できるだけ早期に見直しの検討を

3

企業債 の借入れ



家計に例えると住宅ローンのようなもの

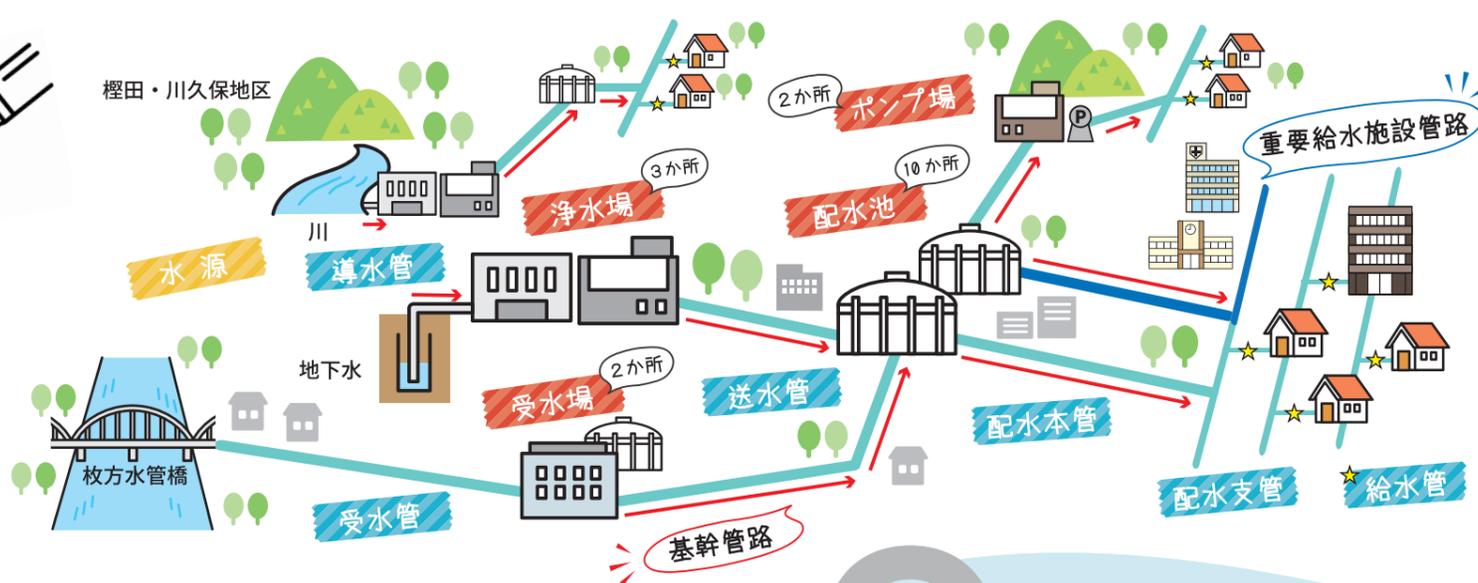
借入れの検討を



水道事業の現状や答申内容など 詳しくは、次のページへ

OPEN!

実はこんなにあります！
水道施設



耐震化MEMO

特に優先して耐震化を進めています！

基幹管路

被害を受けると断水の影響が広範囲になってしまう大きな管路

重要給水施設管路

災害時に特に水を必要とする拠点病院*や救護所などに至る管路

*拠点病院…災害時に医療活動を担う施設として位置づけられている病院

水道事業の経営ってこのままだと将来、どうなるの？

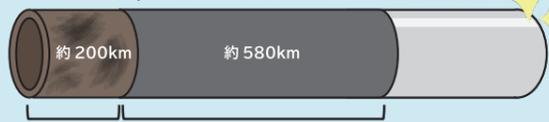
A1 水道管などの施設更新にかかるお金が増えてきています

高槻市の水道施設の多くは、昭和30年代以降の人口急増期に集中的に整備されました。今後これらが続々と更新時期を迎えます。加えて、原材料価格や電気代の高騰により、建設費や維持管理費が上昇しています。

しかし、災害時にも安定して水をお届けできるよう、地震に強い管に取り替えるなど計画的に更新し続ける必要があります。

高槻市の水道管の長さ

全長 約1,075km (直線で高槻市から札幌市までの距離)



法定耐用年数(40年)を超過したもの 今後20年で法定耐用年数(40年)を超過するもの

水道管の更新費用は1kmあたり約2億円です



令和12年度までに約224億円必要…



A2 施設更新をまかなう水道料金収入が不足してきています

水道料金収入の見直し



人口減少に加えて、節水機器の普及やライフスタイルの変化により、水の使用量が減っています。そのため、水道料金収入は今後、大きく減少していく見込みです。

水道事業は、税金ではなくみなさまからの水道料金収入で運営しています



あと6年!?

このままだと水道事業は…

収支が赤字・資金が0

になる見通しです



審議会から示された答申*の内容って？

*答申とは？…行政からの問いかけを受け、第三者機関が意見・回答を行うこと



A 水道管の着実な強靱化と、その財源確保策などが示されました

1 水道管の強靱化

大規模災害時にも、安定して水が供給し続けられるよう、計画的に地震に強い管に更新する必要があります。とくに、災害時に断水や濁水の影響が大きい管を優先して更新します。(紙面右上「耐震化MEMO」参照)



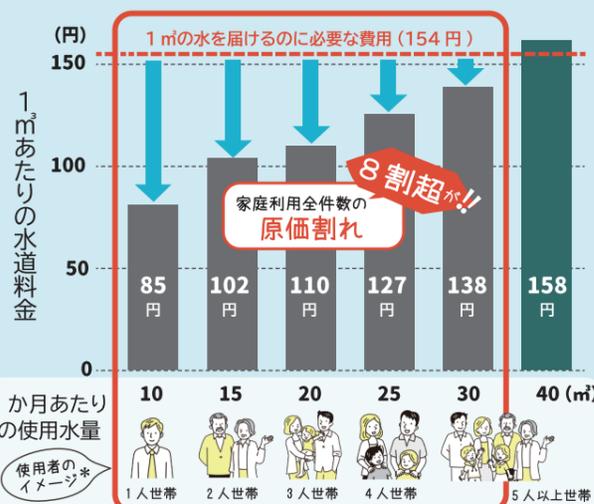
平成30年6月大阪府北部地震(下田部町)

管路の耐震化についてはこちら

Check



2 水道料金の見直し



1mあたりの水道料金 (円)

1mの水を上げるのに必要な費用(154円)

8割超が!!

家庭利用全件数の原価割れ

10 15 20 25 30 40 (m³)

使用者のイメージ

*使用水量に応じた世帯人数はイメージであり、使用実態によって変動します

高槻市の水道料金は、ほとんどの使用者に原価割れの料金で水を提供しているなど、さまざまな課題を抱えています。料金の水準も含め、できる限り早期に見直しを検討することが必要です。

3 企業債の借入れ

企業債は水道事業が借り入れる借金の中で、借入れ後は長年かけて利息も含めた返済が必要になることから近年は借入れを行っていませんが、今後は一定の借入れを検討することが必要です。



今後この答申を受けて、市では具体的な検討を進めていきます



これまで経営改善のために
どんなことをしてきたの？

A

経費削減・経営の効率化に取り組んできました

人員配置の適正化、民間企業への業務委託、システム導入など業務効率化による職員数の削減や、水道管更新時の水使用量の減少を考慮したダウンサイジングなどによ

り、経費削減に努めてきました。

今後も、経費削減の取り組みを続けていきます。



取り組み事例

職員数の削減

平成4(1992)年

令和4(2022)年



208人

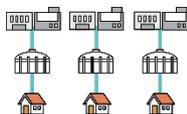
87人

30年間で
半数以下に削減

受水場や配水施設の統廃合

平成6(1994)年

令和4(2022)年

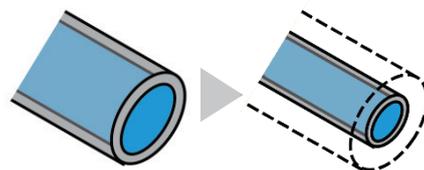


25施設

17施設

過剰な施設の保有
とならないように

水道管のダウンサイジング



今後の水使用量の
減少を考えながら

水の地産地消！
電力消費量も抑えられ、
環境負荷低減につながるエコな
取り組みです

低コストの地下水を最大限活用

高槻市の水道水の約3分の1は大冠浄水場でくみ上げた地下水。残りの約3分の2は大阪広域水道企業団から購入し、枚方市にある村野浄水場から淀川を渡りみなさまへ届けています。

市外から水を送るには電気料金など、より多くの費用がかかります。そこで、大冠浄水場(地下水)でつくった水をお届けするエリアを拡大し、水の提供にかかるコスト削減に最大限努めています。

20年間で
約9億円削減

大冠浄水場



Pick Up!

痛感する水の大切さ — “あたりまえ”を守るための活動 —

CASE

令和6年能登半島地震

新聞記事 掲載欄

権利上の問題で
電子版チラシでは
非表示としております
ご了承ください

日本経済新聞 令和6年1月15日朝刊

能登半島地震では、ライフラインである水道にも大きな被害が生じ、大規模な断水が長期間にわたり発生。本市も現地で給水や復旧支援活動を行いました。蛇口から水が飲める“あたりまえ”を守るための水道管の耐震化の必要性を改めて痛感しました。



応急給水支援の様子(穴水町)



応急復旧支援の様子(能登町)

ぜひご視聴ください！



自ら
水から
備えよう

今、知ってほしい。
水の備えのノウハウ動画

たかつきみずから防災 検索



お問い合わせ

高槻市水道部総務企画課

高槻市桃園町4番15号 ☎ 072-674-7952